

神はご自身の選ばれた民すなわち神の戒めを守る、一つの教会を地上に持っておられる。

神はここに一人、あそこに一人というような、横道にそれた人々でなく、一つの民を導いておられるのである。

教会への勧告(上)221

教会への勧告(下)458

主は、第三天使の使命を宣べ伝える働きが、力を増しつつ前進して行くのを見たいと望んでおられる。神はご自分の民に勝利を与えるため、どの時代にも働かれたように、現代も、ご自分の教会に対するご自身の目的を、りっぱに成就させようと切望しておられるのである。



神は、神を信じる聖徒たちに、一致
団結して前進し、力に力を加え、信仰
には、神のみ働きの真理と正義に対
する強い確信と信頼を加えてゆくよう
に命じておられる。

教会への勧告(下)458

あ上 447

神は、秩序の神である。天と関係がある者は、すべて、完全な秩序を保っている。服従と完全な規律が、天使軍の行動の特徴である。秩序と行動の一致があってはじめて、成功をおさめることができる。神は、イスラエルの時代と同様に、今日も神の働きにおいて、秩序と組織を要求される。 →

神のために働いている者は、だれでも軽率で中途はんぱなやり方でなくて、物事をよく考えてしなければならない。神は、神の働きが、信仰と正確さをもって行なわれることを望まれる。それは、神が、ご自分の是認の印をその働きに押すことができるためである。

あ上 447

われわれの救い主は、彼の教訓を与えた後、
二、三人の者が、一致して神に何でも求めるな
らば与えられると約束された。キリストは、ここ
に、神意によって定められた目的を達成しようと
いう願いにおいてさえ、他の人々との一致がな
ければならないことを示しておられるのである。

教会への勧告(上)226

教会への勧告(上)226

一致団結した祈り、目的の一致に非常な重要性が置かれている。神は、個人の祈りを聞かれるが、しかし、この場合、イエスは、地上に新しく組織されたご自分の教会に、特に意義を持つようになる特別で重要な教訓を与えておられたのであった。

彼らが望み祈る事柄に、合意がなければならぬ。惑わしに陥りやすいのは単に一人の人間の思想や、精神の働きだけではなかったが、同じ目的に集中した何人かの熱心な願いをもって祈らなければならなかったのである。

教会への勧告(上)226

教会への勧告(上)226

教会は、人類の救いのために神が定められた機関である。それは、奉仕のために組織されたものであって、その使命は、福音を世界に伝えることである。神が満ちあふれる、十分なかたであることを、ご自分の教会を通して、世に反映することが、初めから神の御計画であった。→

神が、暗やみから驚くべき光に招き入れて下さった教会員たちは、神のご栄光を表わさなければならぬ。教会はキリストの恵みの富の宝庫であって、神の愛はついには、教会を通して、「天上にあるもろもろの支配や権威」に対してさえも完全に表わされるのである。

教会への勧告(上)226

教会への勧告(上)116

キリストの教会は軍隊によく似ている。どの兵隊の生活も苦勞で困難で危険である。決してまどろむこともまた自分の部署を離れることもしない暗黒の力の君によって、導かれた注意深い敵が至る所にいる。 →

クリスチャンが警戒をしていないと、いつでも、この有力な敵は突然、激しく攻撃して来る。教会員が活動し、用心していなければ、彼の計略によって負かされてしまう。

教会への勧告(上)116

教会への勧告(上)117

任務につくように命令された時、軍隊の兵卒の半数が怠けていたり、眠っていたらどうであろう。結果は敗北と捕虜、あるいは死である。だれかが敵の手を逃れたとしたら、その人は報酬を受けると思われるであろうか。いや、彼らは直ちに死刑の宣告を受けよう。→

教会への勧告(上)117

しかしキリストの教会が不注意であったり、不忠実であるならば、それよりもはるかに重大な結果をもたらすのである。眠っているクリスチャン兵士の軍隊—これより恐ろしいことがあるだろうか。暗黒の君に支配されている世界に対して、どんな前進ができるであろうか。 →

戦いの日に、戦争の結果について興味
味が無く、何の責任も感じないかのよ
うに、無関心に、ただ立っている者は、
彼らの方針を変えるか、または直ちに
兵隊の列を出たほうが良い。

教会への勧告(上)117

教会への勧告(上)97

安息日の集会を興味深いものにするために、各自がしなければならぬことがあると、感じるべきである。ただ形式のために集まるのではなく、思想を交換し、日常の経験について述べ、感謝を言い表し、また、神と彼がつかわされたイエス・キリストを知るために、神の光を求める真実な願いを述べるために集まるのである。 →

キリストについて、共に親しく語り合うことは、心を、人生の試練や戦いに対して強める。クリスチャンであって、しかも自分自身の中に引っ込んでいられると、決して考えるはならない。各自が人類の大きな織物の一部であって、一人の経験が、その仲間の経験によって、大きく決定されるのである。

教会への勧告(上)97

教会への勧告(上)183

さまざまな性格の人々の中に、調和と一致のあることは、神が罪人を救うために、その御子をこの世につかわされたことをあかしする、最も強い証言である。このあかしを立てることは、われわれの特権である。 →

しかし、これをするためには、自分自身をキリストの支配下に置かなければならない。われわれの品性が彼の品性と調和して形成され、われわれの意志が彼の意志に降伏しなければならない。そうする時、われわれは衝突の心配なしに共に働くのである。

教会への勧告(上)183

教会への勧告(下)459

われわれの前にある働きは、人間のすべての力を出来る限り引き出すものである。それは、強い信仰を働かせることと絶え間ない警戒を必要とする。困難に遭遇する時、われわれは落胆してしまふこともあるであろう。 →

仕事のあまりの大きさに、われわれは驚き恐れる。しかし、それにもかかわらず、神の助けによって、神のしもべたちは最後に勝利するのである。「だから」兄弟がたよ、あなたの前にある苦しい経験のゆえに「落胆しないでいてもらいたい」(エペソ 3:13)。 →

イエスは、あなたと共にいてくださる。イエスは、聖霊によって、あなたの前を進み、道を備えてくださる。そして、まさかの時には、あなたの助け手となってくくださるのである。

教会への勧告(下)459